

あらや

ホームページ随時更新中です。

URL

<http://www.hakusan.ed.jp/~araya-e/>

E-mail araya-e@kec.hakusan.ed.jp

学校だより

Tel 22-5042

Fax 22-9648



平成27年2月27日(金)

小松市立荒屋小学校 校長室

「やる気」「本気」「根気」が見えてきました！

児童玄関を入ると、ピンクの画用紙に子ども達の名前がズラッと書かれている掲示があります。

「ことわざ 50」を覚えた子ども達の名前をどんどん書いていったところ、2月25日現在、70名の子ども達の名前になりました。「頭隠して尻隠さず」から始まり、次の50、その次の50と挑戦し、全部で150のことわざに親しめればと考えています。「荒屋小学校は塾のようになったの？」と疑問に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、けっして塾を真似ているではありませんし、実際の塾でこんなことはしていないとも思いますが、……。ここ一年、子ども達の様子を見てみると、「転ばぬ先の杖」状態で、「くじけるのが怖いから、挑戦はしない」様子が見え隠れしています。そんなところを何とか、変えていきたい。何かに挑戦してみたり、涙が出てくるのをこらえてそれでもやってみようとするところから、学ぶことがあるはずだと考えています。算数のクイズや図形パズル、電気の流れ方、都道府県と県庁所在地等、いろいろ仕掛けてきましたが、今回の「ことわざ」にはたくさん子ども達が挑戦しにきます。何度もやってくる子もいて、根気強さも育ってきました。

実際、校長室や職員室で、ときどきしながら、少し大きな声でことわざを言うのは、緊張感があります。だからこそ、達成できた時は、ほっとしますし、一度合格できたのに、次の時にスラスラと出てこないことにうっすらと涙がにじむ悔しい思いも経験しています。ほんの僅かながらでも、一歩踏み出す勇氣は一人一人にぜひあってほしいものだと思います。「こんなのできるにきまつて、だけど、じゃまくさいからやらない」と思っている子ども達もいるのですが、実際に一人でやってみる緊張感や、合格した時の達成感は、やった者にしか分からない深い味があります。「やる気」と「本気」と「根気」。「千里の道も一歩から」。くじけない心育ての種を撒いています。ぜひ、おうちでも「ことわざ」を聞いてあげてください。言えれば意味も知りたくなるし、大人が使っていればおやっとな関心をもちますし、そのうち、自分でも使ってみることができるのでは、……。と、やっぱり知識の効果もねらっておりますが、……。

そして今回、「六年生を送る会」では、5年生を中心として在校生みんなが、本気で感謝の心を込めて、6年生を送ることができました。8の字跳びや壁画への取組み等で一生懸命だった6年生の本気度が、在校生にしっかりと伝わった結果だと感じています。

危険！ゲーム依存症

最近読んでいる本に「インターネット・ゲーム依存症」という本があります。「依存症」という言葉はあまり聞きなれない言葉ですが、以前使っていた言葉でいうと、「中毒」という意味です。テレビゲームが流行し始めたころから、「ゲーム脳」という言葉が頻繁に使われるようになり、ゲームのやりすぎはよくないと言われてきました。ゲームは、短絡的な思考回路になる、残酷性が問題だ、と言われながらも、— これからの世の中、これくらいできなくちゃ話の輪にも入れなくなるし、できないと遅れをとってしまうのではないかと、— と思う親御さんの思いもあり、急速に広がっていきました。

けれども、私たちが予想しているよりうんと影響は強く、ゲーム依存症・メール依存症に陥っていく危険が大であることが分かってきました。止めようと思っても、止められない・ついやってしまう・ついさわってしまい着信を何度も確かめる……。

簡単な脳のメカニズムで言うと、「強い刺激を受け止めるためにドーパミンが放出される。→ドーパミンの受け皿が増える。受け皿は死滅する→次に作られる受け皿はより強い刺激を受けないと作られない→もっと強い刺激をほしがる→受け皿がまた減る→もっと強い刺激がほしくなる」

アルコール依存症と似ています。

「インターネット情報やメールを見て、幸せな経験をした→またいいことがあるのではないかと次を期待する→見ないと、幸せを逃した気分になる→頻繁に見ることで安心する」

パチンコ等の賭博依存症と似ています。

「ゲームばかりして、体を動かさない→血液が流れず、動きが悪くなる」

狭い空間で起こるエコノミー症候群です。

刺激の強いものには大きな影響力があります。依存症にならないためには、しっかりとした約束が大切です。与えてからが大切な管理。自転車と同じように、乗れるからと喜んでばかりはいられません。命の危険があることも親子で話し合って十分に気をつけましょう。「長時間の休憩時に、使用をやめさせても、イライラせずに、人と楽しくゲーム以外の会話が続く」

まずは、これをチェックしてみてください。ドキッとした人は、家族が協力しての治療が必要です。

あらの子



2月4日授業参観日に4年生は二分の一成人式を行いました。保護者の皆さんと共に成長を実感できました。

すごいぞ あらやっこ！ スポチャレ！ランキング上位！

1年生 40mリレー ……県11位 12秒10 県9位 11回
2年生 シャトルボール……県7位 176回 県3位 6799回
3年生 シャトルボール……県36位 98回 県78位 185回
4年生 8の字跳び……県161位 194人 県73位 1474人
5年生 8の字跳び……県150位 222人 県164位 434人
6年生 8の字跳び……県5位 442人 県23位 5802人

左側はベスト記録 右側は挑んだ日数(回数)です。

2月4日授業参観の前に、がんばっているスポチャレいしかわの技を披露しました。気合を入れて、自己ベストを目指しました。この日、3年生は見事自己ベスト。くぐっているようにしか見えない6年生の8の字跳びは、保護者の方からもため息が出ました。



2月も読書祭りが行われました。図書委員を体験できる楽しい企画には、1年生も応募して、実際にバーコードを読み取って、図書を貸し出す作業を行いました。イラストコンクールも人気があり、読んだ本のイラストを本物そっくりに描いていました。お気に入りの投票もあり、楽しい1週間でした。学校では、たくさんの本を読むことを子ども達に勧めています。1年間で読む本の数やページ数を記録したり、質の高い本を読むことを勧めていきます。3月には、お勧めの本をたくさん読んだ子ども達が表彰される予定です。



2月16日に6年生が和菓子作りを行いました。行松旭松堂様から浜中剛氏をお迎えし、和菓子「椿」の作り方を教えて頂き、その後、日頃お世話になっている我が町防犯隊の方々をお招きし、作った和菓子とお茶でおもてなしをしました。町ごとに分かれての談話ではちょっと緊張した様子でしたが、感謝の気持ちを伝えたいとがんばっている姿を感じ取っていただけたのではないかと思います。



2月25日に行われた「6年生を送る会」では、5年生が中心となって、「6年生に感謝の気持ちを伝えよう」をスローガンに全校児童が本気でがんばりました。

各学年の出し物はもちろん、図書ボランティアさんの読み聞かせにも、6年生へのはなむけの気持ちが込められていて、とても心が温かる会でした。6年生の歌声の美しさも感動的でしたし、校歌の意味を学び、ポプラの樹を校樹としている荒屋小学校への思いを込めて制作した壁画にも驚きと感動がありました。

「あと、まだ15日、残っている。」一日一日を充実させて、さらに成長し、その心を在校生に余すところなく見せてください。



「6年生を送る会」でも活躍くださった図書ボランティアさんの他、今年もクラブ活動支援者の方々、わが町防犯隊の方々、お花やしき物の世話等、児童の活動に様々な支援をして下さっている方々に、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。紙面を借りて、お礼申し上げます。

「やる気・本気・根気」が見られる「ことわざに挑戦！」覚えたことわざを言い、休み時間に校長室や職員室へやってきます。ドキドキしながら大きな声でことわざを言うことで、集中して物事をする体験、がんばったことへの達成感につながっています。

